

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」  
海外の専門情報

No.67

調査者	松木 良介、井澤 和大
情報ソースの刊行日	2020年11月1日
情報ソースの調査日	2021年2月1日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2021年2月5日
日本語タイトル	2019年コロナウイルス病(COVID-19)から最近回復した患者における心臓血管磁気共鳴画像法の結果
情報ソース	Puntmann VO, et al., Outcomes of Cardiovascular Magnetic Resonance Imaging in Patients Recently Recovered From Coronavirus Disease 2019 (COVID-19). JAMA Cardiol. 2020 Nov 1;5 (11): 1265-1273.
情報のカテゴリー	心疾患全般
発信地域	ドイツ(ヨーロッパ)
URL	<a href="https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/32730619/">https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/32730619/</a>
要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年コロナウイルス病(COVID-19)は、世界中でかなりの罹患率と死亡率を引き起こし続けている。症例報告より、COVID-19が心臓血管系に顕著に影響を与えることが示されている。</li> <li>目的はCOVID-19から最近回復した患者の心筋傷害の存在を評価することである。</li> <li>対象は2020年4月～6月の間にCOVID-19から回復した患者100名(フランクフルト大学病院のCOVID-19レジストリ, 平均年齢:49歳、COVID-19診断から評価までの日数(中央値):71日)である。</li> <li>心筋症は、心臓血液マーカーおよび心臓血管磁気共鳴(CMR)画像により評価された。</li> <li>COVID-19の重症度とは無関係に、60人の患者(60%)で進行中の心筋炎が認められた。</li> <li>COVID-19の心臓血管系に対する影響を長期的に調査することが必要である。</li> </ul>